



今月の内容

- 02 まちの話題
- 04 **特集** 平成31年度当初予算
スマイルシティ都城 まい 邁進予算
- 12 まるまる Mallmall 開館 1 周年！
- 13 都城志布志道路 横市IC～平塚IC間供用開始！
- 14 市税などの納期限・口座振替日一覧表
- 15 安全で快適な道路環境づくり
- 15 都城歴史資料館企画展
「眠りからさめた王さまたち」
- 16 人の風景
- 18 INFORMATION（市からのお知らせ）
- 26 行こうよ！ まるまる！
- 27 美術館情報／施設紹介／
歴史探訪／伝承館だより
- 28 盆地生まれの元気レシピ！
- 29 国際交流員のひとりごと／わけもん通信／
今月のお便り
- 30 みやこんじょ盛り上げ隊！／今月のプレゼント
- 31 NPO通信／安全・安心情報／
番組紹介／現住人口／編集後記



ふるさと納税の仕組みを知る

ふるさと納税市民向けイベント「日本一の肉と焼酎まつり」が2月24日、Mallmall内のまちなか広場などで行われました。本市のふるさと納税返礼品や、寄附の使い道などを知ってもらうために開催された本イベント。MRTラジオでも放送中の「焼肉屋みやこんじょ」の公開収録や、世界ジェラート大使の柴野大造シェフのジェラートパフォーマンスなども開催。来場者らは、楽しみながらふるさと納税について理解を深め、返礼品でも扱われている特産品に舌鼓を打っていました。



都城の「極上」を全国に発信

市公式オンラインショップ「極上！ みやこのじょう！」が3月4日11時29分（いい肉）にグランドオープンし、セレモニーが行われました。ふるさと納税の返礼品でも好評の肉と焼酎をはじめ、本市の特産品を全国の消費者に購入してもらうために開設した本サイト。包括連携協定を締結した楽天(株)運営の楽天市場内に出店しています。セレモニーでは、池田市長が実際に商品を購入し、サイトの魅力を体感していました。



まちかどインタビュー

後藤家商家交流資料館 商家のひなまつり

大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと、おひなさまを見に来ました。すてきな人形がたくさん飾ってありました。きれいな着物も着せてもらえて、とてもうれしかったです。ほら、かわいいでしょ！



太郎坊町 吉村 かりん 花凛ちゃん(右)
庄内町 川畑 こはる 心遥ちゃん(左)

今月の表紙

受け継がれる伝統芸能

山之口麓文弥節人形浄瑠璃の3月定期公演に向け、麓小学校人形サークルの5・6年生が3月15日、最後の練習を行いました。6月から保存会会員の熱い指導を受けてきた児童らは、感情を込めた動きを一つ一つ確認していました。





田の実りを祈る 伝統の農耕神事

豊穰を祈る神事「ベブどん」が2月17日、春日神社（高木町）で行われました。ご神体の牛（ベブ）を引いて、田んぼに見立てた境内を耕そうと親方と下男（デカン）が奮闘する様子を方言で演じるベブどん保存会会員の軽妙なやりとりに、境内には笑い声ははじけていました。



木々の息吹を感じながら、 悠久の森を歩く

青井岳ウオーキングが2月17日、山之口町青井岳地区で開催されました。青井岳の森ふれあい実行委員会が、「日本一早い山開き」と銘打つ毎年恒例の企画。市内外から参加した約80人は、地区の由来ともなった標高563mの青井岳を、汗を流しながら2時間30分ほどかけて踏破しました。



決意新たに 立志の誓いを胸に刻む

高城中学校の立志式が2月21日、高城生涯学習センターで行われました。参加した2年生65人は、将来の目標などを色紙にしたため発表。式の後は、同校出身のイタリアで活躍するオペラ歌手黒木真弓さんが講演。「常に自信を持てるよう、自分を磨いてほしい」と生徒らに呼び掛けました。



向春の河川敷を 笑顔でウオーキング

「ふれあい健康ウオーキングin祝吉」が2月17日、沖水川河川敷などで開催されました。地域住民の健康増進や祝吉地区の魅力を知ってもらおうと、同地区のまちづくり協議会が企画。参加者ら約300人は、暖かい日差しの中、互いに声を掛けながら約6kmのウオーキングを楽しんでいました。



自慢のディフェンスを 生かし全国大会へ

庄内ミニバスケットボールスポーツ少年団がチャンピオンシップ県大会女子の部で優勝し、2月27日、池田市長に全国大会出場を報告しました。約10年ぶりに全国大会出場を決めた本チーム。池田市長は「全国大会でも良い結果が出せるよう、持っている力を全て発揮してください」と激励しました。



地域が元気になり さらに発展するように

2月21日、高崎まちづくり協議会に「みやぎんCSR型私募債」を利用した寄付金が贈呈されました。(株)アイワホール（高崎町縄瀬）が(株)宮崎銀行を通して、債券発行手数料の一部を寄付する本取り組み。同協議会の村吉昭一会長は「寄付金を活用し、高崎を住みよいまちにしたい」と力を込めていました。